

信州松本市・四賀



# クラインガルテンだより

■発行／松本市指定管理者 四賀むらづくり株式会社 〒399-7404 長野県松本市取出481-1 TEL.0263-64-4447 FAX.0263-88-4447 1月1日 ■印刷／株式会社ラルト

恭  
賀  
新  
年

2020新春号 Vol.39

虚空蔵山(1139)から望む四賀の里

信州の  
味な  
はなし

茶の間を彩るサンふじ  
信州りんごで～す!

気候変動もなんのその!たくましく育ったりんご達  
＼(^o^)／

でもその陰には生産者の並々ならぬ努力があってこそ。手塩にかけると、このようにまばゆいサンふじになります。もちろん太陽の恵みも欠かせません。美味しいですよ～!



新年明けましておめでとうございます。元号も新たに、輝かしい令和二年の初春を迎えることができました。日本でも年ごとに気候の変動を実感するようになりましたが、今年こそ無病息災で過ごせるように心から祈りたいと存じます。

アルプスの峰々は雪の綿帽子をかぶり、静かに里の私たちを見守っています。昨年は春も秋も天候に振り回されて作物の生育に一喜一憂し、さらには台風の到来により全国各地に予想を超える災害をもたらしました。一日も早い復興を望みたいですね。

今年は干支の最初の「子年」。みんなでオリンピックにチュウ目しましょう!

冬ごもりに備えて丹念な苗床繕い  
今年も大収穫!  
まちがいなし!

例年、玉ねぎの苗は10月ごろに定植します。ガルテナーの中には種から苗を育てる方もいますが、一般的には市販のものを購入します。そして今では便利な穴あきマルチを使用した苗床に植えます



が、昨年も冬を前に丹念な土寄せなどの繕いをする姿が見受けられました。

和やかに蕎麦会で団らん!

## 恒例の新そば会

クラインガルテンではいくつ楽しみごとのサークル活動があります。そのひとつが「本家蕎麦&麦の会」。仲間で近隣の畠を借りて、蕎麦や麦を播種から収穫に至るまで一緒に作業をします。蕎麦を収穫した秋には『新そばを賞味する会』と称した恒例の催しを樂



天候不順で泣かされた昨年は、野沢菜が品薄でした。時々時と地の利が合わず生育に支障を来しましたが、写真のような野沢菜が調達できて漬ける時期に間に合いました。たくさんのが爾テナーさんが野沢菜を漬けたようです。



## ガルテン歳時記

令和の雪も真っ白ですね。古代から色も形も変わりなく、静かに降り積もる雪を皆さんはどう思っているのでしょうか。“純白を染める”のは人それぞれです。崇敬する神社仏閣などで二年参りや初詣の折に今年の願いを込めてみましょう。今年もガルテナーの皆さんがあなたを暮らしを満喫できますようにと祈っています。



## 秋の収穫祝い

ここ四賀クラインガルテンを利用される方々の多くは、居住地の他に生まれ故郷を持つので、小さく見たり聞いたりした物や



季節の農作業などに郷愁を感じること)して洗うまでには大変な労力を要します。そして漬ける時は塩加減などをどうしようかと試行錯誤しますから、各家庭で微妙に味が変わってくるのが当然で、それがまた何とも楽しみな田舎の味なのでしょうね!



季節の農作業などに郷愁を感じて、田舎暮らしに思いを馳せているようです。クラインガルテンのある四賀地区で農作業を始まります。農家でも労力が欲しいことが相まって、交流の輪が広がります。稻刈り、脱穀、リンゴの葉摘みなど作業はさまざまです。



# —ガルテンは私のフリー・ダム 楽しい場所へ向かう時間がいい

坊主山クラインガルテン  
126号  
もりた えいじ  
師田 栄一さん(7)

四賀ガルテナーの楽しみ  
ガルテンで何してん!?

「こうね、ネクタイ

をほどくときの解放感に似ているんだよね」。

1時間半というラウベまでのドライブを、手振りを交えてこう表現するのは、自宅のある長野市から通つて27年目の師田

栄一さんです。

坊主山クラインガルテンを知ったのはテレビ局に勤めていた平成4年。番組の取材で四賀村(当時)を訪ねた時でした。建設が始まつたばかりのクラインガルテンが、心のどこかで求めていた「フリーダム」と重なり、翌年、完成と同時に入園。夜のニュース番組を終えた足で車を走らせたこともあつたと言い、「楽しい場所に向かう時間はいい。今も同じ心境で通つています」と話します。

ラウベは北アルプスを眼前に望める坊主山西端の高い位置にあり、その眺望を背に桜の樹が何本か植えられていま

す。師田さんはこの風景が一望できる窓はこの風景が一望できる窓

際に机を据え、日記をつけたり、読書



野菜作りの経験がなかつた師田さんですが、「食いしん坊だから食べたいものを育てたい」と畑をフル活用。野沢菜は大好物の「すんき漬け」用に毎年育てています。10年前に植えた北米原産の果樹「ポーポー」も大きく育ち、この夏は約70個の実を収穫。冷凍保存して冬もその味を楽しんでいます。

「土は人間の本質的な何かを目覚めさせるんじゃないかな」と師田さん。3人の子どもの家族が、

かわるがわるラウベに滞在した夏、泥にまみれ、夢中で遊ぶ孫たちの姿を見て、土の力を感じたら嬉しい。そんな日を楽しみに命ある限り通い続けたい」と笑顔を見せます。

それでも冬季の滞在は妻の和美さん(74)が体調を崩してしまったため1人で通い、ちょっと淋しそう。「冬は『男の隠れ家』になるけど、1人の食事はおいしくないね」とポツリ。「ソバは自分で打つけど、やっぱり女房の傍そばがいいな」とほほ笑む師田さんです。





行って  
みよう!

# クラインガルテンを拠点に出かけるイベント案内

## Event information

※イベントは、発表時より変更されている場合があります。事前にご確認ください。

### 松本あめ市

開催日 1月11日(土)～12日(日)  
ところ 松本市 中心市街地  
お問い合わせ 松本あめ市実行委員会事務局 ☎0263-36-1121

戦国時代に上杉謙信が敵将の武田信玄に塩を送ったとされる「義塩」が松本に届いた日を記念して開かれた塩市が起源とも伝わる新春の恒例行事。福だるま・福あめ売りのほか、上杉軍と武田軍の綱引き「塩取合戦」、時代行列、全国あめ博覧会など、にぎやかに開催。

### 特別展「バラに捧ぐアールヌーヴォーのガラス展 —ガレ・ドーム・ラリックー」

開催日 3月10日(火)まで  
ところ 諏訪市 北澤美術館  
お問い合わせ 同美術館 ☎0266-58-6000

エミール・ガレを中心としたガラスコレクションの中から、バラをテーマにした作品を厳選。ガレ晩年の傑作とされる「フランスの薔薇」シリーズや、日本原産のバラがモチーフの作品は見どころ。また新天皇の即位を記念した皇室ゆかりの作品も特別展示。入館料は大人1000円、中学生500円、小学生以下無料。

### 企画展「丸山太郎の祈りと心 その美しさをひもとく」

開催日 3月15日(日)まで  
(12月29日～1月3日、月曜休館。祝日の場合は翌日休)  
ところ 松本市 松本民芸館  
お問い合わせ 同民芸館 ☎0263-33-1569

2020年は松本民芸館を建てた丸山太郎生誕110年。今展では太郎の収集品を「祈り」の視点でひもとく。観覧料は大人310円、中学生以下無料。2月9日(日)は9:30と13:00の2回、講座「こぎん刺しのコースターづくり」を開催。定員各10人。材料費1500円。申し込みは1月7日(火)から。

### 国宝松本城氷彫フェスティバル2020

開催日 2月1日(土)～2日(日)  
ところ 松本市 松本城公園  
お問い合わせ さわやか信州松本フェスティバル組織委員会  
(松本市観光温泉課) ☎0263-34-3000

東京五輪の開催年にちなみ、氷彫コンクールではフランスやイタリア、オランダ、ベルギー、タイの5カ国をはじめトップ技術を誇る国内外18チームが参加する「ワールドチャンピオンシップ」を開催。また松本駅前広場には、国宝となった旧開智学校校舎を模した氷彫を展示予定。

### 土偶展「中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神」

開催日 2月2日(日)まで開催中  
(12月29日～1月3日・14日、月曜休館。祝日の場合は翌日休)  
ところ 千曲市 県立歴史館  
お問い合わせ 同歴史館 ☎026-274-2000

開館25周年記念特別企画展。パンザイ土偶(富士見町坂上遺跡)や瞳のある土偶(山梨県)など、長野・山梨両県から発掘された中・小形土偶を中心に展示。観覧料は一般300円、大学生150円、高校生以下無料。1月18日(土)は報告会「長野県内出土の土偶をめぐって」、19日(日)はシンポジウム「土偶の仕舞い方」を開催。

### 農民美術・児童自由画100年展

開催日 2月24日(月)まで開催中  
(12月29日～1月3日、火曜休館。祝日の場合は翌日休)  
ところ 上田市 サントミューゼ 上田市立美術館2階展示室  
お問い合わせ 同美術館 ☎0268-27-2300

洋画家で版画家の山本鼎が始めた「農民美術運動」と、子どもたちの創造性を生かした「児童自由画教育運動」。100年にわたる両運動の意義や、未来を探る企画展。1月18日(土)、2月8日(土)は作品解説のギャラリートークを開催。観覧料は一般700円、高校大学生500円、小中学生300円。

### コンサート「アマンディーヌの『四季』」

開催日 3月13日(金)PM7:00  
ところ 松本市音楽文化ホール  
お問い合わせ 同ホール ☎0263-47-2004

フランス古楽界の新世代を代表するバロック・バイオリン奏者・アマンディーヌ・ペイエが設立したアンサンブル・リインコーニティによるオール・ビバルディ・プログラム。バロック作品を探究する奏者のバイオリン協奏曲集「四季」は聴きどころ。チケットは一般5500円、U-25(25歳以下)2000円。

### 色彩の画家 ラウル・デュフィ展

・パリジェンヌが愛したテキスタイル・デザイン・

開催日 1月25日(土)～3月29日(日)(月曜休館、祝日の場合は次の平日休)  
ところ 松本市美術館 企画展示室  
お問い合わせ 同美術館 ☎0263-39-7400

南仏の風景や音楽、社交界をテーマに華やかで明るい色彩が人気の画家ラウル・デュフィ。モダンで優美な絵画をはじめ、20世紀初頭のオートクチュールデザイナーに支持されたテキスタイル(布地、織物)デザインの原画や下絵、衣装作品などを展示。観覧料は大人1200円、大学高校生・70歳以上の松本市民800円。

### まるやまあやこ絵本原画展～わたしのものがたり

開催日 1月31日(金)～4月14日(火)(木曜休館。2月は水・木曜)  
ところ 安曇野市 絵本美術館 & コテージ「森のおうち」  
お問い合わせ 森のおうち ☎0263-83-5670



「おかしのくにのバレリーナ」(教育画劇)

安曇野市生まれの絵本作家の原画展。「ひとりでおとまり」や「おかしのくにのバレリーナ」「なのはなごう しゃっぽつしづこう!」など、愛らしい子どもの表情や春らしい色使いの原画60点。バーナデット・ワツ絵本原画展を同時開催。観覧料は大人800円、小中学生500円、3歳以上250円。